

第17回 共同実施事業管理委員会 東京都作業部会
議事要旨

日時：平成30年10月18日（木）13:15～17:00

会場：東京都庁第一本庁舎 33階南側E会議室

1 開会

2 議事

(1) 選手村ビレッジプラザ整備工事について

(2) 商業棟整備工事について

①選手村商業棟躯体関連工事及び選手村仕様解体工事の施工及び
工事監理業務に関する協定について

②選手村マルチファンクションコンプレックス（商業棟）大会時内装
工事について

(3) 伊豆自転車競技会場整備工事について

<説明・確認>

- ・事業の概要について組織委員会から説明。個別案件確認表について、組織委員会及び東京都からそれぞれ説明。
- ・「東京都が負担する経費の基本的な考え方」の4点に対応していることを確認。

<質疑、意見など>

議事（1）について

- ・全国の木材を使用するが、木材の搬入時期は決まっているのか。
⇒木材の受入れは、2019年3月から順次、現場に搬入する予定。
- ・木材を受け入れた後は、すぐに組み立てられるのか。
⇒ボルト結合であり、すぐに組み立てられる。
- ・各自治体との往復の木材運搬費は、だれが負担するのか。
⇒募集要件に記載しているが、往復の運搬費は各自治体に負担していただく。
- ・木材にはビレッジプラザで使用したことがわかるような表示をするのか。
⇒大会エンブレムなどは商標の関係で難しい。ビレッジプラザで使用したことを示す焼き印を押してお返しする案などを検討中である。
- ・ビレッジプラザでは、協力いただいた木材について紹介するのか。
⇒協力していただいたことが分かるように、塀や柱に自治体名を入れることを考えている。また、ビレッジプラザの入口付近に、協力いただいた自治体の所在地など表示する予定。

議事（2）について

- ・内装工事について、商業棟は一般競争入札であるが、宿泊棟は特定建築者との契約である。なぜ異なるのか。
⇒商業棟は宿泊棟よりも空間が大きく、特定建築者の工事と切り分けができた。一方、宿泊棟はレガシーとして残すものとそうでないものが混在し、切り分けが困難である。
- ・内装の撤去工事を躯体関連工事の中で実施するとのことだが、特定建築者に対しては3Rの観点で何か働きかけを行うのか。
⇒再利用できるものは丁寧な撤去を心がけるなど、可能な範囲で対応してもらう。
- ・撤去費はどのように見積もっているのか。
⇒商業棟は、レガシーとして活用するため搬出口等が少ない。機器を細かく分解するなどの制約があるため、それらを勘案した上で厳しく査定している。

議事（3）について

- ・マウンテンバイクで使用する諸室はあるか。ある場合は、パラリンピック経費の対象外になるということか。
⇒パラ部会で確認することであるが、マウンテンバイク単独で使用するPSA用の諸室等は、パラリンピック経費から除外するという考え方になるだろう。
- ・工種で契約を分けることで、メリットはあるのか。
⇒ある。多様な事業者に参加してもらうことが可能となる。
- ・工事期間中も施設の営業は続けるのか。
⇒工事が始まるため、原則として2019年春からは営業を休止する予定。
- ・レストスタンドを組織委員会の資金で解体するのはなぜか。
⇒会場が山の斜面になるため、大会運営に使用する平地が非常に少ない。レストスタンドを解体することで、運営用地を捻出する。また老朽化が著しく、耐震化にも問題があり危険であるため、関係者と協議し組織委員会が撤去することになった。

（4）OMEGAのPTA契約締結について

＜説明・確認＞

- ・事業の概要について組織委員会から説明。個別案件確認表について、組織委員会及び東京都からそれぞれ説明。
- ・「東京都が負担する経費の基本的な考え方」の4点に対応していることを確認。

<質疑、意見など>

- ・仮に他の事業者が一から OMEGA と同じ内容を請け負う場合、提示されている金額で行うことはできない。前回大会と比較しても、妥当な額だと考える。
- ・過去大会と比較しても 2012 年のロンドン大会とほぼ同額である。
- ・人件費はどのように算出したのか。
⇒OMEGA のオペレーション要員を、マネージャークラス、主任・主事クラス、担当者クラスの三つに分けて単価を設定し、リオ大会の全体人数を基に、各クラス三分の一ずつとして算出している。テストイベント等についても、リオ大会を参考に算出している。
- ・新たに追加された競技の扱いはどのようになるのか。
⇒今回の PTA に追加競技は別契約とする条項がある。別契約も諸条件は PTA と同じである。パラリンピック競技ではなく国や東京都の負担が生じないので、作業部会には諮らない。
- ・OMEGA はオリンピック以外の国際大会の計測の経験もあるのか。
⇒ある。直近では、インドネシアで開催したアジア大会に関わっていたと聞いている。
- ・組織委員会作成の個別案件確認表に、「過去大会で開発したアプリケーション等を流用することもできる」とある。既にあるものを流用するのであれば、更に金額を下げることもできるのではないか。
⇒計測については、日々技術革新が進んでいる分野であり、判定を精緻化するニーズもある。最新の技術を導入するとコストは上がるが、費用を抑えて余裕ができた部分で新しい技術を取り入れ、固定額にしているという認識。

(5) 仮設電源サービスの契約について (43 競技会場及び選手村・IBC/MPC)

<説明・確認>

- ・事業の概要について組織委員会から説明。個別案件確認表について、組織委員会及び東京都からそれぞれ説明。
- ・「東京都が負担する経費の基本的な考え方」の 4 点に対応していることを確認。

<質疑、意見など>

- ・想定していた数量から大きく変更する可能性など、見直しはあるか。
⇒仮の図面で見積もっているため増要因がある。また、削減できる要素もある。
- ・業務範囲に運用も含んでいるが、24 時間担当者を配置するのか。
⇒基本的には競技開始の 3 時間前から競技終了の 1 時間後までは張り付けてもらい、それ以外は電話連絡で 1 時間以内に来ることができる体制を考えている。

- ・オペレーション担当者がいないと稼働しないのか。
⇒自動で稼働はするが、発電機の調整があるので担当者に来てもらう必要がある。
- ・資料の「3 仮設電源サービスの業務範囲」に倉庫設置とあるが、倉庫はなぜ必要なのか。
⇒海外から多くの設備を持ち込み、調整や試運転を行うための場所が必要となる。
- ・国外からの輸送を想定しているが、国内で調達するよりもコストがかかるのではないか。
⇒今回のレンタル品の中の 400 ボルトの発電機などは日本ではあまり使用されないものなので、日本よりも海外メーカーの方が安価というメリットがある。

(6) 借上財産評定委員会の結果について

<説明・確認>

- ・事業の概要について組織委員会から説明。個別案件確認表について、組織委員会及び東京都からそれぞれ説明。
- ・「東京都が負担する経費の基本的な考え方」の4点に対応していることを確認。

<質疑、意見など>

- ・固定経費の考え方を教えていただきたい。
⇒営業を停止していただく期間にも発生する経費を補償対象とするものである。

3 意見交換 特になし

4 閉会